

授業科目名 (英文名)	専門基礎演習 (Second-year Seminar)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	石黒 靖子	所属	経済学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	この専門基礎演習では、経済理論が現実の経済現象をどの程度説明できるのかを検討し、理論を学ぶこと意義を理解することを目標とする。また、同時に国際経済学の基本的な議論の理解、国際的な経済データの探し方を学ぶことも目指す。 前期は、代表的ないくつかの国際経済に関する理論を学び、次に実際のデータがその理論が示す通りであるかを検証する。後期は現実の経済データを観察し、その経済データが示す現象を説明する経済理論をテキスト等より見つけ出し、現象を経済学的に正しく理解できるようになることを目指す。		
講義内容・授業計画	<p>講義内容</p> <p>3～4名前後のグループをつくり、グループ内・グループ間で協力しながら国際経済学の理論とデータを調べ、最後には全員で1つのゼミレポートに仕上げる予定である。</p> <p>授業計画</p> <p>前期は国際経済に関わる代表的で基本的な理論を取り上げ、日本経済においてその理論が成立しているかを実際の数値で簡単な検証を行い、発表する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．為替レートの長期的な変動 2．国際収支の決定 3．先進国と途上国との貿易構造 <p>後期は次の3点に関するデータ調べ、これらを経済学的に説明し最後にゼミレポートに仕上げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．円ドル為替レートの短期的変動 2．日本とEU間の貿易構造 3．日中間の賃金格差の推移 		
テキスト	授業に進行に応じて適宜指示する。		
参考文献	授業に進行に応じて適宜指示する。		
成績評価の基準・方法	報告など研究活動50%、ゼミへの貢献度50%を基本とする。		
履修上の注意・履修要件	無断欠席はしないように。		
実践的教育			
備考			